

「社会教育士」＝「スーパーマン」？

年明けよりオミクロン株なるものが激しく拡大し、生活環境（学習環境）を激変させる中、1月24日～2月21日の間、令和3年度社会教育主事講習[B]が開催されました。期間の前半は全て個別でオンライン研修、後半はソーシャルディスタンスに配慮しながらの集合研修でした。社会教育主事講習を修了した方は、「社会教育士」を名乗ることができます。社会教育主事講習には、東京で行われるA講習、島根大学で行われる島大講習（島根ではサン・レイク（今年度は松江谷庁）といわみーるで行うB講習）があります。（詳しくは「しまねの社会教育だより34号 2022.2月号」をご覧ください。）さて、今回のB講習参加者は全国で437名（開催県14県15会場）です。うち島根県の受講者は52名ですので、養成者数は東京の本会場に次いでなんと第2位なのです。なぜ、島根ではこんなにたくさんの社会教育士を養成しているのでしょうか。文部科学省のポスターには「私たちのまちや暮らしにある様々な課題。その課題の解決に向けて、地域に暮らすみなさんを支えるのが『社会教育士』です。」とあります。まるで「スーパーマンか?!」という感じですが、実は社会教育士があらゆる課題を解決しまくる訳ではありません。課題を解決するのはあくまでも地域に暮らすみなさんで、その主体的な活動を支えるのが社会教育士なのです。

県や市町村では、特に「人口減少」とそれに付随する課題がたくさんある中で、「まちづくり」や「地域の活性化」をどう実現するか頭を抱えています。行政のトップダウンではなく、住民との協働によってそれを実現しようとする動きがすでにいくつもの市町村で始まっているのです。その協働のキーマンこそが「社会教育士」だからではないでしょうか。

今年度新たに、52名の「社会教育士」が誕生しました。県内各地で、各々の街の課題解決を支援し、何らかのより良い変化をもたらすキーマンになってくれることでしょう。

島根の社会教育では次の言葉が「社会教育の流儀」として大切にされています。

「集って 楽しんで 学んで 動いて 変えていく」

この言葉を胸に、各地でご活躍されることを楽しみにしています。

西部社会教育研修センター所長 真島 陽一



社会教育関係者
御用達
「社会教育流儀」
ポロシャツ

これまでの研修・講座の様子 (令和3年9月～)

公民館等職員研修

「種」から住民とともに育てる事業 (全5回シリーズ)

第4回 (9/16) 「事業のセールスポイントと取組の成果を伝えるプレゼンテーション」

- ◇演習 「事業の振り返りと今後の展望」
- ◇講義 第5回の発表に向けて「プレゼンテーションの基礎知識」
- ◇演習 第5回の発表に向けてのプレゼンテーションの企画・準備



第5回 (12/7) 実践発表会 (東部・西部合同) 「紹介します、私の実践」 江津少年自然の家 (西部受講者分のみ掲載)

園芸クラブ 花で笑顔を
～想いを形にするまちづくり～

まちセンにある手つかずの花壇の再生に取り組んで...



SKI交流会
私たちが楽しむ地域の活動

コロナ禍で行事が中止になる中、各団体が協力し合う関係を築くきっかけのための情報交換会を計画



しゃべりばおもしろ
～世界遺産と共に暮らすまちづくり～

世界遺産登録15周年を前に、様々な年代の人から声を聞くため、公民館とまちセンがタッグを組んで事業を計画



ティピーテント × 半日キャンプ

高校生と地区の人が、協力して子どもの遊び場を作ることで、関係ができ思い出づくりにつながってほしい



わいわい健康ウォーキング
in 今市

事業に関わる会のメンバーに、活動を通して、自発的に取り組み連携を深めてほしいと願い...



公民館等職員研修



地域ボランティア体験・職場体験
仁摩の子どもたち
ちょっとてごしとくれ～!

高校生との事業を増やしたいと思い「夏休み子ども読書会」に、ボランティアとしての参加を呼びかけた



「いとあそび」事業
繋ぎたい地域の宝

裁縫・手芸サークルのメンバーに、趣味から一歩進み、子ども事業のボランティアになってもらいたい



ちょっとのぞいてみんちやい
「初めての公民館講座」

公民館に関わりの少ない40・50代に、講座に参加し、地域の仲間と繋がることの楽しさを知ってほしい



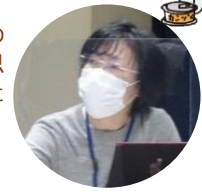
にぎわいチャレンジ!!
吉田地区に“にぎわい”と“つながり”を取り戻そう!

今年度、新たに発足したにぎわい班。リーダー育成と仲間づくりをめざしワークショップを重ねていった



夏休み! 防災キャンプ

まちセンとターゲットの運営委員の思いが一致した「防災事業」を実施



ファシリテーター養成講座

楽しみながら“対話の場”をつくる (全3回シリーズ)

第2回 (9/28) 学習プログラムをデザインしファシリテートの見通しを持つ

- ◇説明(ミニ演習) 「学習プログラム」の企画・設計に向けて
- ◇演習 「学習プログラム」の企画・設計
- ◇ミニレクチャー 人を元気にするファシリテーター
- ◇演習 「学習プログラム」の企画・設計
- ◇演習 リハーサルとブラッシュアップ



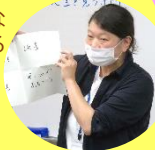
第3回 (10/26) いざ、ファシリテートに挑戦!

地域住民役に40名近い方が集まってくださいました(...)

地域のここと知ってる?
宝を見つけよう!
(ラベルワーク)

対象
30~40
代女性

地域のいいところ、素敵なもの・こと・人を見つける
(ふり返り)
準備をしっかりする



地域でやりたいイベントを考えよう!
(ラベルワーク)

対象
小学5
6年生

地域の好きな場所・自慢できる場所と、地域でやってみたいことを出し、この2つを組み合わせる



もっと身近に楽しく防災!!
(ワールド・カフェ)

対象
地域の
各種団体

(ふり返り)
失敗を活かす!
これからたくさんチャレンジして自分らしいファシリテートできるように笑顔で



地域のここと知ってる? ~たのしいを生みだそう!!~ (ブレインストーミング)

前回出した地域の資源から、「楽しそう」「やってみたい」を見つける

(ふり返り)
言葉のえらび方



(ふり返り)
盗んで実践!

(ふり返り)
支援



(ふり返り)
安心感と目的

防災キャンプを実施するにあたり、前の回で出た避難所での不安事項を解消するアイデアを出す
防災キャンプの
イベント内容を考える
(ワールド・カフェ風)



(ふり返り)
とける

社会教育委員研修

— みんなで発見! 「明日へ踏み出す第一歩」 —

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、今年度は資料及び動画(録画映像)配信

【あいさつ】「しまねの社会教育推進に向けて」

■ 島根県社会教育委員連絡協議会よりあいさつ
島根県社会教育委員連絡協議会会長 有馬 毅一郎 氏

【実践発表】「社会教育委員と行政職員とのつながり ～楽しさを通して～」

■ 社会教育委員と行政担当職員が、どのように連携しながら事業実施に至ったのか。
邑南町 社会教育委員 鳥居 清枝 氏・教育委員会 原田 千恵美 氏
(質疑応答から参加) 教育委員会 大橋 寛 氏・尼川 雅之 氏

【講義】「今、社会教育委員に求められていること」

■ 社会教育委員に求められる力とそれを支える市町村担当者の役割、互いのよりよい連携のあり方等について。

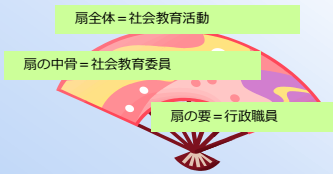
講師：青山学院大学 教授 山本 珠美 氏

社会教育委員は、教育委員会への意見具申を行う**提言集団**。社会教育法第十七条にその**職務**として、



- 一 社会教育に関する諸計画を立案すること
- 二 定時又は臨時に会議を開き、教育委員会の諮問に応じこれに対して意見を述べること等がある。

社会教育委員は、重要な委員として委嘱を受けていることを意識してほしい。委嘱する方も、重要な委員であることを大切にしてほしい。それぞれの地域の実情によって何が必要か。委員を味方につけ、社会教育の活性化を図ってほしい。
(講義内容一部記載)



邑南町には14名の社会教育委員がいるが、社会教育委員の知名度は低く、活動の「見える化」が課題である。ただ、地域で何かしらの役割を担っており、「地域での実践者」といえる。最大の強みは、「地域」に根付いていることであり、聞こえてくる地域の声や委員が感じていることが「地域の思い」になる。

る第一歩は、行政の「楽しい」という思いであった。「楽しい」とその先にある「学び」を社会教育委員と共有し、委員がさらに思いを色付けする。

社会教育委員の会で、ワークを行い、自分たちが経験し学んだこと、子どもたちに何を伝えたいのか話し合った。これを次に活かしていくことが必要だ。

家庭教育支援事業「逃走中」は、社会教育委員と行政と一緒に実施した事業である。この事業を進め

お互いの協力関係のもと、いろいろな場面で社会教育活動を進めていきたい。(発表内容一部記載)

つなぐ♡つながる 実践発表交流会 2021

11/18 県立青少年の家 サンレイク

テーマ：つなごう 子どもとともに輝く私たち

【オープニングトーク】「つなぐ・つながるための準備運動」

講師：国立教育政策研究所 志々田 まなみ 氏

【説明】「結集!しまねの子育て協働プロジェクト事業の視点から」

社会教育課 植田 康太 氏

【実践発表】



「鳥の目 魚の目 虫の目で考える包括的な放課後支援 ～まちの縁側の取組から～」

栗栖 真理 氏
(浜田第一中学校区地域学校協働活動推進員・浜田のまちの縁側 代表)



「子育てサークルから始まる家庭教育支援 ～隠岐の島・子育てサークル♡オヤトコ♡」

齋藤 智美 氏
(子育てサークル♡オヤトコ♡代表)



「松江城堀川の水環境保全活動を通じた地域学校協働活動の取組」

中田 光俊 氏
(千鳥のお堀を学ぶ会代表・城北小学校PTA副会長)



「多様なつながりでつくる“まち全体が学びの場” ～つわの@HOMEプロジェクト放課後さんまの実践より～」

中村 和恵 氏 (津和野公民館主事)
住田 桃子 氏 ((財)つわの学びみらい 教育魅力化コーディネーター)
舟山 宏輝 氏 ((株)FoundingBase)
石川 元揮 氏 (思うは招こう会)
佐々木将光 氏 (津和野町教育委員会 派遣社会教育主事)



「ひとが繋がりひとが育つ好循環 ～子どもも大人もまちづくりの主体者に!～」

石川 有里 氏 (西益田つらうて子育て協議会 事務局)
大畑 咲絵 氏 (豊田公民館地域魅力化応援隊員)
田原 俊輔 氏 (益田市教育委員会 派遣社会教育主事)



「出雲市親学プログラムのこれまでとこれから」

三成 圭寿 氏 (親学ファシリテーターの会いずも)
森脇 淳志 氏 (出雲市教育委員会 派遣社会教育主事)



【演習】「テーマ：『つながる』ポイントを共有し、『これから』を語り合う」

<ワーク1> 子どもの支援に関わる大人同士のつながり度は?

<ワーク2> つながりが熟している状態は?



<ワーク3> つながりの熟度を高めるために必要なことは?



【講演・全体講評】「学び合うための条件をもう一度考えてみよう」 講師：国立教育政策研究所 志々田 まなみ 氏

学び合える条件は、できる人ができることをやっていき教え合う。相手のために何かしたい気持ちと相手より少しできる技術が必要だ。何かのきっかけでちょっと知恵を拝借するように、気軽にできるのが学び合いなのではないか。

社会教育の豊かさをもっと活用すればいい。多様な大人が多角的な視点から考えた、子どもたちにフィットしたさまざまな取組が可能になり、子どもの学びが保障できる。個別最適な学びを提供できるのは、社会教育こそがやるべき内容なのではないか。活動の内容はなんでいい。大事なのは地域と学校の協働で、相手の立場、事情を理解し気持ちに寄り添っていく、願いや問題意識を仲間意識をもって聞き取ることだ。学校に偏りすぎない子どもたちの成長の在り方を考えなくてはいけない。学びの環境をつくること“つなぐ…”で進めていく活動ではないか。
(講演内容一部記載)

* 講義・実践発表のポイントについて、「しまねの社会教育だより34号」に掲載しています。

つなぐ♡つながる

実践発表交流会

2021

これまでの研修・講座の様子

社会教育主事講習【B】

○生涯学習概論	(1/24～1/28)	オンライン	(13名受講)
○社会教育経営論	(1/31～2/4)	オンライン	(20名受講)
○生涯学習支援論	(2/7～2/14)	オンライン+集合	(27名受講)
○社会教育演習	(2/15～2/21)	集合	(20名受講)

(*土・日・祝日を除く)

(*生涯学習支援論の様子)



シンポジウム

(テーマ)
社会教育主事有資格者及び社会教育士の実践

「実践紹介」

安来市教育委員会 足立 隆博 氏
 県立しまね海洋館アクアス 山口 慶子 氏
 飯南町赤名公民館 景山 良一 氏



「グループワーク」(フリットーク)

Q.思い描く理想の社会教育士像は？

- ・パイプ役
- ・中道
- ・黒子
- ・身近な相談相手
- ・気づかせる存在!
- ・スーパーサブ(黒子)
- ・ぼくない社会教育士
- ・やさしく やわらかく 切り込む
- ・住民に「協力して・・・」と言える社会教育士
- ・人に寄り添い人を動かせる社会教育士
- ・楽しく活動する社会教育士
- ・動きながら考える 行動力 妄想→実行
- ・戦略とカジュアルのバランス
- ・様々なつながり 豊かな考え
- ・スキルがあり 情熱がある 知識を持ち コネもある
- ・未来を見据えた志をもって地域の人と一緒に考える
- ・住民目線 私たちも住民である 身近な存在≠役場の人間だろう



- ・創造力豊か
- ・しゃべり上手
- ・好きをスキルに
- ・フットワークの軽さ

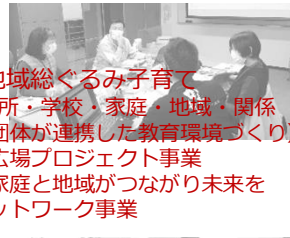


演習最終日 プレゼンテーション

プレゼンテーション① 【テーマ】家庭教育支援



施策 : 0歳児からの地域総ぐるみ子育て
 施策の柱: ヨコの連携(保育所・学校・家庭・地域・関係機関などの様々な団体が連携した教育環境づくり)
 事業名 : 【拡充】子ども広場プロジェクト事業
 【拡充】学校と家庭と地域がつながり未来をつくるネットワーク事業



プレゼンテーション② 【テーマ】青少年教育



施策 : 青少年の健全育成
 施策の柱: 地域住民の青少年への理解促進
 事業名 : 【新規】シニアニア学園事業
 【新規】トキ☆メキ♡拠点事業



プレゼンテーション③ 【テーマ】家庭教育支援



施策 : 地域・世代を超えた学習機会の創出
 施策の柱: 地域・家庭・保護者同士の「つながりづくり」
 事業名 : 【新規】Masuda de YuRu-Tsuna
 【新規】Masuda de YuRu-Tsuna 発信事業



プレゼンテーション④ 【テーマ】青少年教育



施策 : はまだっ子共育
 施策の柱: 浜田づくりは人づくり
 事業名 : 【拡充・新規】浜田ひとむすび
 【拡充・新規】集まれ!どんちっちーず



プレゼンテーション⑤ 【テーマ】学校と地域の連携・協働の推進



施策 : はまだっ子共育
 施策の柱: 地域学校協働活動
 事業名 : 【拡充】地域学校連携活性化事業(ふるさと先生活躍事業)
 【新規】大学企業連携地域活性化事業



担当手作りのパネル&横断幕
 浜田・益田事務所の両企画幹は強力な応援団



B講習に関連したキーワードがびっしり!

西部センターだより 2021年度3号(令和4年2月28日)

発行 島根県立西部社会教育研修センター

〒697-0016 浜田市野原町1826-1(いわみーる3F)

TEL: (0855) 24-9344

FAX: (0855) 24-9345

Eメール: seibu_shakaikyoiku@pref.shimane.lg.jp

URL: https://www.pref.shimane.lg.jp/seibu_shakaikyoiku/

